

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶にむけた本校の決意】

子ども達は、私たちの姿を見て育ちます。

1 私達は、子ども達を守り、育てます。

2 私たちは不祥事を許しません。

3 私達は、法令等を順守します。

4 私達は、地域に開かれた学校にします。

三原市立深小学校

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の危機感、緊張感を保ち続けること ○「自分にも起こり得る」という認識を持つこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○実感を持って服務研修を行い、記憶に残るものにする。 ○日常の声掛け、指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チェックリスト等を活用し、研修後に自己評価する時間を設定する。 ○服務研修のあり方について、実態を把握し、課題のある内容に沿って担当を決めて研修する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取組表のチェック・評価を行う。 ○年間計画にそって担当制にし、責任をもって実施する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○職場内の気づき、人材育成、サポートが十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○風通しの良い職場環境をつくり、組織対応をしながら、人材育成をすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部会の時間を保障し、進捗状況の確認やサポート体制づくりをすすめる。 ○適時に、仕事分担を適切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定例的に、不祥事防止委員会で状況を把握する。(校内外環境・児童の様子・職員の様子に気を配る)
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○職員のメンタルヘルスの早期発見、早期対処及びフォローアップの環境づくりが不足している。 ○児童の心の状態の把握のため、担任・養護教諭・管理職の連携がさらに必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行う。 ○担任・養護教諭・管理職の連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより・HP等で保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○誰でも相談できる体制づくりを行い、保護者からの相談も随時受ける。 ○不祥事防止委員会を定例化し、職員同士の意見の交流を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に児童、保護者及び本校職員を対象にアンケートを実施する。 ○学期末懇談会における保護者からの意見・相談について暮会等で確認する。